

2002年 9月24日 (新様式第1版)

2003年 3月24日 (新様式第2版)



仕 様

承認番号

医療用具承認番号 21200BZZ00634

家庭用低周波治療器「パルテス(PALTES)」

器具器械78家庭用電気治療器

電氣的仕様

定格電源電圧 : 100[V] (50/60Hz)

定格消費電力 : 23 [W]

最大治療電流 : 19 [mA] (1 K Ω 負荷接続時)

治療周波数 : 自由選択 (3~1000[Hz])

治療パターン選択 (3~245[Hz])

オート治療プログラム選択 (3~250[Hz])

バランス調整 : 左右出力差 \pm 25%

タイマー : 最長15分 (1分毎に設定)

温熱導子設定 : 最高43 $^{\circ}$ C (5段階調整)

寸法・重量・付属品

寸法 : 幅 378 \times 奥行 280 \times 高さ 210[mm]

質量 : 本体3.7[kg]

付属品 : 手元出力調整器・温熱導子 (大1個、小2個)

・ベルト (大1本、小2本) ・入力ヒューズ (1A)

・解説ビデオテープ (1本) ・導子アタッチメント (3個)

・導子コードキーパー (2個) ・本体ビニールカバー

(1枚) ・予備ヒューズ (1本)

※商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがありますのでご了承ください。

社団法人 日本ホームヘルス機器工業会



株式会社 ホーマイオン研究所

東京都渋谷区神泉町17-2 TEL 03-3464-6655

お客様相談室 ☎ 0120-084239

AF-c03M-1-01K

Paltes

取扱説明書



HOMER ION LABORATORY CO.,LTD.

ご使用になる前に

ホーマーイオン パルテスをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ホーマーイオン パルテスは、創業以来50年に及ぶ長年の研究と医療機関での実績をもとに開発された治療器です。

本器の治療方法には「治療パターン選択」「オート治療プログラム」「自由選択」の3種類があり、それぞれ次のような特徴を備えています

1. 「治療パターン選択」

主要な治療部位として「肩・首筋」「腰」「上肢」「下肢」「肘・膝」の5種類と、症状の「こり」「痛み」「疲れ」「血行」「麻痺」の5種類を組み合わせ、25通りの幅広い目的に応じた治療をすることが簡単にできます。

2. 「オート治療プログラム」

ボタン一つで治療範囲の広い治療プログラムを選択できるモードです。毎日の使用で健康維持と予防に適しています。

3. 「自由選択」

周波数・治療出力を一定にした「たたく・おす」、周波数が一定で治療出力を可変した「もむ」、周波数が一定で左右の治療出力を交互に可変した「ローリング」があります。治療時間は、任意に設定することができます。

本器の治療原理

神経・筋肉が通電パルスの周波数によってさまざまに反応することを応用して、皮膚表面より治療目的にあった微弱なパルス電流を流し、出現する生理作用により患部を治療します。

効能・効果

「肩こり」「末梢神経マヒ」「マッサージ効果（疲労回復、血行を良くする、神経痛、筋肉痛の痛みの緩解）」に効果があります。

※本器をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を全部お読みくださいますようお願いいたします。

目次

ご使用になる前に	1
安全上のご注意	3
ご使用上の注意	4
機器本体と付属品の名称	5
操作パネル面と背面の名称	6
治療器の使い方は簡単です	7
こんな治療をするときは？	10
治療の操作で困ったときは？	11

準備編

本体の設置	12
導子と水分	12
治療出力端子	12
ベルト・導子アタッチメント・導子コードキーパー	13
導子の装着	13
電源スイッチ	14
表示パネル	14

基本編

治療方法の選び方	15
治療パターン選択による治療	15
治療パターン選択のタイマー	16
温度調整	17
治療音声	17
治療開始	18
治療終了	18
本体と導子の保管	18

応用編

オート治療プログラムによる治療	19
オート治療プログラムのタイマー	21
自由選択による治療	22
自由選択のタイマー	22
手元出力調整	23
治療例	24
故障かな？と思ったら	29
ご使用後のお手入れと保管要領	31
アフターサービス	32
ご使用上の注意	33
保証と愛用者カード	34

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。




いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が損害を負う可能性及び物質的損害のみの発生が想定される内容。


絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。




※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご使用上の注意



⚠ 危険

	・下記のような医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。 ペースメーカー等の体内埋込型医用電子機器
---	---

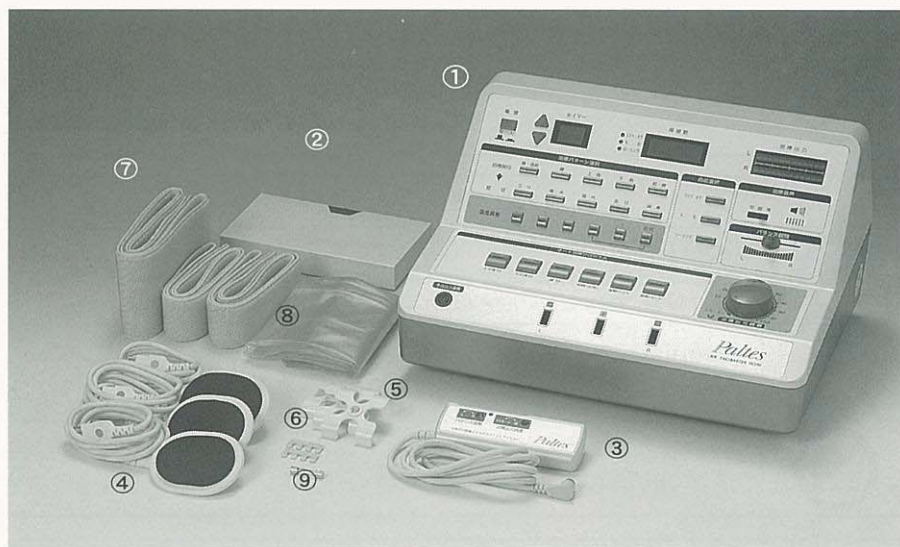
⚠ 警告

	・次のような方は、医師の指導を受けて使用してください。 (1)急性疼痛性疾患のある人 (2)適用部位の皮膚に異常のある人 (3)悪性腫瘍のある人 (4)熱の高い人 (5)心臓に障害のある人 (6)妊娠している人 (7)温度知覚に障害のある人 (8)てんかん
	・医療用具製造元以外では、分解したり修理・改造は絶対にしないでください。発火したり、異常動作をして怪我をすることがあります。
	・浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。感電および故障の原因になります。

⚠ 注意

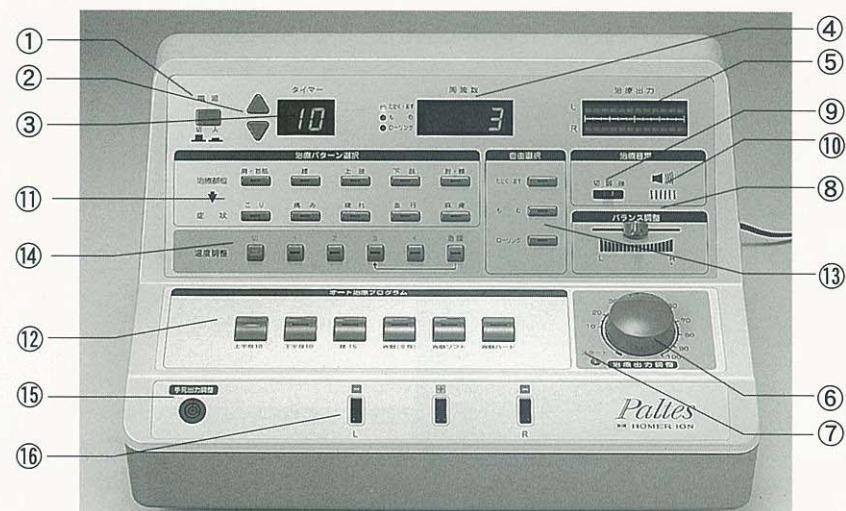
	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて使用する人、特に幼児、ご高齢の方、虚弱体質等の方が使用する場合、初めは治療時間を短く、かつ治療出力を弱くし、体調に合わせながら使用してください。 ・定められた治療時間をこえないでください。体調をくずすことがあります。 ・温熱導子は低温やけどの恐れがあります。乳幼児や身体の不自由な方は付き添いなしでは使用しないでください。また、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬など)を服用した方、深酒をした方も使用しないでください。 ・金属類を身につけている方は、導子を金属類に触れないでください。治療目的の部位以外が刺激されます。 ・本機器は、定められた治療目的以外に使用しないでください。事故や体調不良の原因になります。 ・電源のコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。 ・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災、感電の原因となります。(通電中)
	・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。怪我や火傷、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

機器本体と付属品の名称



① 機器本体	1台	⑥ 導子コードキーパー	2個
② ビデオテープ 「パルテスをお使い 頂くために」	1本	⑦ ベルトセット	
③ 手元出力調整器	1台	大 (90×1200)	1本
④ 導子セット		小 (45×1000)	2本
+導子 (大)	1個	⑧ 本体ビニールカバー	1枚
-導子 (小)	2個	⑨ 予備ヒューズ (1A)	1本
⑤ 導子アタッチメント	3個	取扱説明書	1冊
		保証書	1枚

操作パネル面と背面の名称



- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| ① 電源スイッチ
「入」 「切」 | ⑩ 治療音声
「電子音」 |
| ② タイマー設定ボタン
「▲」 「▼」 | ⑪ 治療パターン選択スイッチ
「部位・5種類、症状・5種類」 |
| ③ タイマー表示
「LEDデジタル」 | ⑫ オート治療プログラム選択スイッチ
「パターン・6種類」 |
| ④ 周波数表示
「LEDデジタル」 | ⑬ 自由選択スイッチ
「たたく・おす」「もむ」 |
| ⑤ 出力表示
「LEDレベル」 | ⑭ 温度調整選択スイッチ
「切」「1」～「急暖」 |
| ⑥ 治療出力調整ツマミ
「ロータリー式」 | ⑮ 手元出力調整端子
「10pinコネクタ」 |
| ⑦ 治療出力表示灯「LEDランプ」 | ⑯ 治療出力端子
「-L」「+」「-R」※極性表示 |
| ⑧ バランス調整ツマミ「スライド式」 | ⑰ 電源コード |
| ⑨ 音声スイッチ「切」「弱」「強」 | |



治療器の使い方は簡単です

治療方法は「治療パターン選択」による「肩こり」を例に説明します。
まず、機器本体を平らな安定した場所に置いてください。
以下の順序で準備をしてください。

● 治療の準備をします



1 機器本体裏面のコードボックスから電源コードを取り出しコンセントに差し込みます。(12ページ参照)

① 治療出力調整ツマミを「スタート」の位置にします。

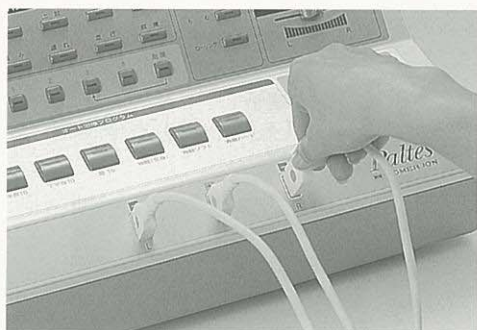


2 三つの導子に水を十分に含ませます。(12ページ参照)

① 布枠の上から中のスポンジにぬるま湯または水を十分に含ませてください。

② 導子を合わせ、しずくが落ちない程度に水を切ります。

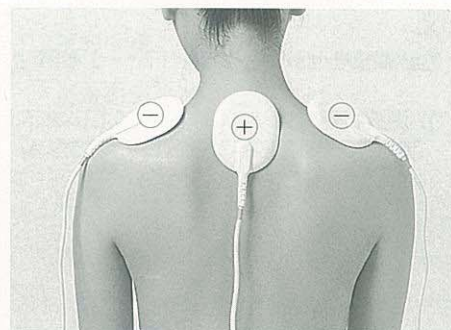
注意：水分が不足していると通電しません。



3 機器本体の出力端子に導子のプラグを差し込みます。(12ページ参照)

① 大きい黄色(+)導子は中央です。

② 小さい緑色(-)導子は左右のL Rです。(プラグの向きは上下どちらでもかまいません)



4 導子を肩に固定します。(13ページ参照)

- ① 黄色(+)導子を首の付け根にあてます。
- ② 緑色(-)導子を左右の肩の一番こっているところにあてます。
- ③ 導子をベルト等で固定します。



5 電源を入れます。(14ページ参照)

- ① 電源スイッチを「入」にします。
- ② [上半身10]のランプと温度調整の「切」のランプが点灯し、タイマー「10分」、周波数「3Hz」が表示されます。



6 治療パターン選択の中から肩こりを選択します。(15ページ参照) ♪

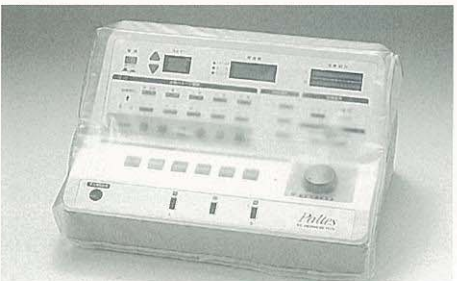
- ① 治療出力調整ツマミが「スタート」の位置にあることを確認します。
- ② 治療パターンから[肩・首筋]を選びます。
- ③ [肩・首筋]のランプが点灯し、症状のランプが全て点滅します。☀
- ④ 次に点滅している5つの症状の中から[こり]を選びます。点滅が止まり、[こり]のランプが点灯します。☀ → ☀

※ 記号の見方 ♪ : プザー鳴動 / ☀ : ランプ点灯 / ☀ : ランプ点滅 / ♪ : メロディー

こんな治療をするときは？



● 治療を開始します。



7

温度調整をセットします。(17ページ参照)♪

- ① 温度調整は最初「切」になっていますので、季節に応じて選択してください。

8

治療出力調整をします。(18ページ参照)♪

- ① 治療出力調整ツマミを「スタート」の位置から徐々に右に回し、気持ちのよい強さにします。
- ② バランス調整で左右の刺激感覚が同じになるよう調整します。

9

治療終了。(18ページ参照)♪

- ① 出力が停止しタイマー表示と周波数表示が「0」[0000]になったら終了です。
- ② 治療出力調整ツマミを「スタート」の位置に戻します。
- ③ 導子をはずし、電源スイッチを「切」にします。
- ④ 電源コードをコンセントからはずします。

10

本体と導子を保管します。

治療が終了した後、導子は軽く水洗いし、スポンジの水分を充分絞り出し、風通しの良いところに保管してください。
治療器本体は、ホコリを避けるため必ずビニールカバーをかけて保管してください。

疲労回復

全身の倦怠感をとるには……………24

肩こり

肩のこりをとるには……………25

腰の痛み

腰の筋肉の痛みをとるには……………25
神経痛の痛みをとるには……………25

上肢・下肢の疲れ

腕の血行促進……………26
脚の疲れ……………26

関節の痛み

肘関節の痛みをとるには……………27
膝関節の痛みをとるには……………27

関節の痛み

腕の麻痺を治療するには……………28
脚の麻痺を治療するには……………28

治療器の操作で困ったときは？

電 源

電源スイッチを「入」にしたがどのランプも点灯しない……………12

タイマー

タイマーセットができない……………16、21

治療出力

治療出力が全くない……………13、15、18、19、22

治療方法

治療パターン選択の設定ができない……………15
オート治療プログラムの設定ができない……………19
自由選択の設定ができない……………22

導 子

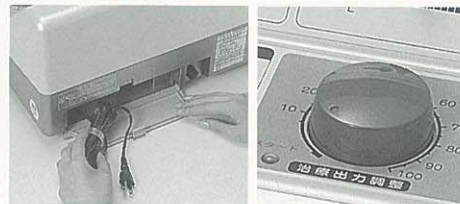
導子の装着固定ができない……………13
ベルトがうまく使えない……………13

故 障

故障したときの連絡先がわからない……………32

準備編 治療の前に準備をしましょう

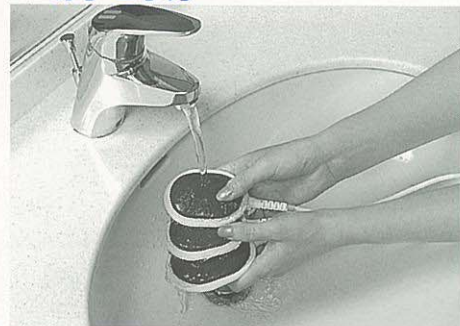
① 本体の設置



機器をご使用になる前に、次の準備と確認を行ってください。
まず、機器本体を平らな安定した場所に置いてください。機器本体裏面のコードボックスから電源コードを引き出し、コンセント（AC100V）に差し込みます。治療出力調整のツマミの位置を「スタート」にします。

※工場出荷時、治療出力調整のツマミの位置は「スタート」、治療音声は「弱」になっています。

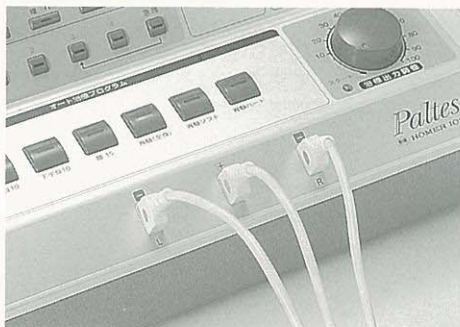
② 導子と水分



導子布面にぬるま湯または水を十分に中まで浸透させ、柔らかくなってから、しずくが落ちない程度に水分をしぼります。

注意：導子に水分がないと通電いたしません。使用する全ての導子に水分を充分浸透させてください。

③ 治療出力端子



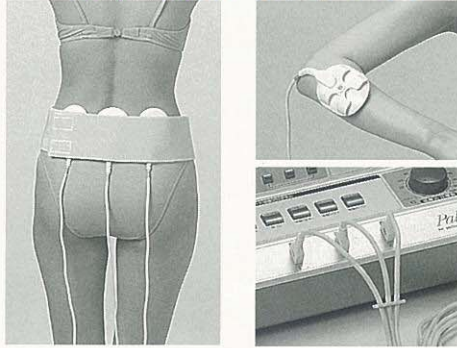
中央のプラス端子に大きい黄色導子（以下、（+）導子）を、左右のマイナス端子に小さい緑色導子（以下、（-）導子）2個を差し込みます。

⚠ 注 意



電源は、交流100V以外は使用しないでください。

④ ベルト・導子アタッチメント・導子コードキーパー



- ・ベルトは導子を固定する部位に応じて使
いわけてください。
- ・導子アタッチメントは導子を湾曲させ、
治療部位の肌の曲線に合わせます。
- ・導子コードキーパーは使用中のコード
が、からまないようにコードの途中2箇
所を固定します。

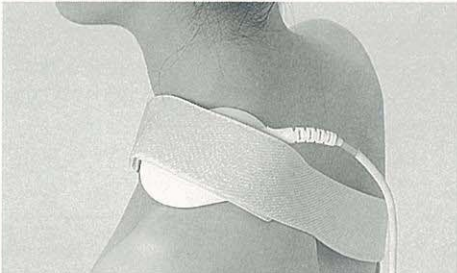
⑤ 導子の装着



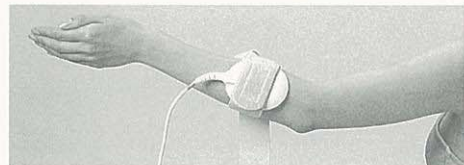
導子の青い布面を治療部位（肩・腰等）に
直接固定します。

注意：導子を使用する際に重要なことは、
必ず素肌に密着させることです。
肩や腕・脚など丸みのある部位は、付属の
アタッチメントを使ってより密着度を高め
ます。

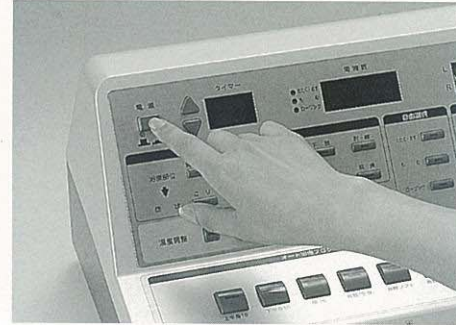
⑥ ベルトによる固定



付属のベルトは部位にあらかじめ巻いて、
その隙間に導子を挟み込みます。
肩など固定しにくいところは、ベルトをタ
スキかけにして密着させるか、衣類と肌の
間に挿入して密着させます。



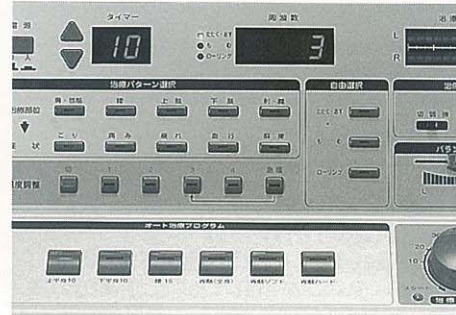
⑦ 電源スイッチ



♪

電源スイッチを「入」にしますと、電子音
が“ピー”と鳴り、タイマーは「10」が
表示され、オート治療プログラムの「上半
身10」が自動的に選択されます。

⑧ 表示パネル



表示パネルが図のようになっていれば機器
は正常に作動しています。

オート治療プログラム「上半身10」 ☀
温度調整 「切」 ☀
タイマー 「10」
周波数 「3」
たたく・おす 「ランプ(緑)」 ☀

治療方法の選び方

治療の種類には大きく分けて、

「治療パターン選択」による治療

「オート治療プログラム」による治療

「自由選択」による治療

の3つの治療方法があります。

基本編では「治療パターン選択」を使用した治療方法を説明し、応用編では「オート治療プログラム」と「自由選択」について説明します。さらに応用編では手元出力調整器について説明します。

基本編 治療パターン選択による治療方法

治療パターン選択による治療

① 治療パターンの選択



1. 治療パターン選択の設定方法
治療パターンを選択する前に治療出力調整のつまみを「スタート」の位置にあわせてください。

最初に部位の選択ボタンの「肩・首筋」、腰、上肢、下肢、肘・膝を目的に応じて押します。この時、症状ボタンのランプが全て点滅状態になります。

次に症状ボタンの「こり」、痛み、疲れ、血行、麻痺を目的に応じて押すとそのボタンが点灯に変わり、他のボタンは消灯します。

注意：部位ボタンを押した後に必ず症状ボタンを選択してください。症状ボタンを選択しないで治療出力調整のつまみを回すと「ピピピピピピ」と警告音になります。

※ 治療パターン選択では、治療中に組み合わせパターンの変更はできません。

2. 各組み合わせパターンの特徴

肩・首筋	こり 痛み 疲れ 血行 麻痺	(10分)たたく速さを変えながら気持ちよくもみほぐします。 (10分)筋肉運動を抑えて、すばやく痛みを和らげます。 (10分)変化を少なくして神経・筋肉を癒します。 (10分)筋肉への負担を少なくして血液の流れを良くします。 (13分)麻痺した神経の回復を促し同時に筋肉の衰えを防ぎます。
腰	こり 痛み 疲れ 血行 麻痺	(12分)筋肉運動を適度に与えてもみほぐします。 (15分)痛みをすばやく和らげ、その効果が持続します。 (12分)腰部の疲労からくる重苦しさを取り除きます。 (12分)刺激の変化を少なくして血行を促進します。 (15分)刺激を強くして神経の回復を促します。
上肢	こり 痛み 疲れ 血行 麻痺	(10分)段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。 (10分)筋肉運動を抑え痛みを和らげます。 (10分)変化を少なくして神経・筋肉の疲れを癒します。 (10分)筋肉への負担を少なくして血液の流れを良くします。 (15分)麻痺した神経の回復を促し同時に筋肉の衰えを防ぎます。
下肢	こり 痛み 疲れ 血行 麻痺	(10分)段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。 (15分)即効的に痛みを和らげ、その効果が持続します。 (10分)脚のだるさを取り除くのに適したパターンです。 (10分)筋肉への負担を少なくして血液の流れを良くします。 (15分)麻痺した神経の回復を促し、同時に筋肉の衰えを防ぎます。
肘・膝	こり 痛み 疲れ 血行 麻痺	(10分)関節は筋肉組織が少ないので血液等の流れを主にしたパターンです。 (10分)うすきを抑えて、すばやく痛みを和らげます。 (10分)関節では血液などの体液の流れを主にしたパターンです。 (10分)関節では血液などの体液の流れを主にしたパターンです。 (15分)神経への刺激を主にしたパターンです。

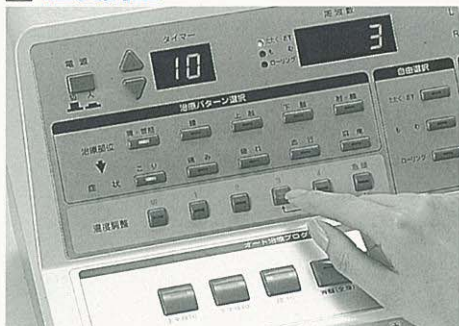
注意：症状ボタンを先に押しても選択できません。また、再度部位ボタンを選択し直した場合は症状ボタンのランプが全て点滅状態になり確定しませんので、症状ボタンを押し直してください。

② 治療パターン選択のタイマー

治療パターンではどの組み合わせにもタイマーがあらかじめ決められていますので、**時間の変更はできません。**

治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が1分以下になると1秒単位で表示されます。

③ 温度調整



♪
電源を「入」にした時、温度調整は始め「切」の状態です。
使用時の季節や室温の状態により、温度調整は5段階に設定することができます。標準的には「3」を選択して使用してください。
また、早く導子を暖めたい場合は、「急暖」を選択してください。
導子の温熱機能をご使用にならない場合は、「切」を選択してください。♪

注意：温度調整は、電源投入後「急暖」を押しますと、安全のため5分後は「3」に自動設定されます。また、その後再び「急暖」にした場合、1分30秒後に「3」に自動設定され、過度な温度上昇を防ぎます。また、電源を「入」にした状態で、治療を行わないまま放置しますと15分で自動的に温度調整は「切」になり温熱機能を止めます。

△ 注意



- ・定められた治療時間をこえないでください。体調をくずすことがあります。
- ・同一治療部位での治療時間は15分以内です。パターンを変え、続けて治療をしないでください。体調をくずすことがあります。
- ・温度調整の「急暖」は再々使用しないでください。
- ・温熱導子は同一部位で、15分以上使用しないでください。低温やなどの恐れがあります。

④ 治療音声



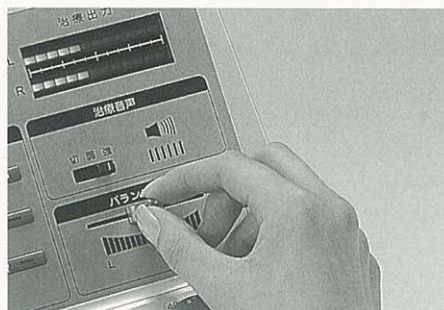
♪
治療音声スイッチは、本機器出荷時に「弱」がセットされています。
音の大きさは「強」「弱」及び無音の「切」があります。
電源投入時に「ピィ」と鳴り、各種の操作ボタンを押したときはメロディが鳴り、内容が変更されたことを知らせます。また、治療中は周波数に同期した音が鳴ります。

⑤ 治療開始



1. 治療出力調整 ♪

治療出力調整ツマミは、必ず「スタート」の位置からご使用ください。出力は徐々に強くし、気持の良い強さにします。はじめ、少し強く感じるところまでツマミを回し、少し戻した位置が適切な強さです。治療が終了したら、必ず「スタート」の位置に戻してください。部位によっては筋肉運動が起こるまでツマミを回してください。



2. バランス調整

身体の状態により、左右の(-)導子の治療出力に違いがあるときはバランス調整を使用します。バランス調整ツマミを左右に移動して、強さが同じになるように調整します。

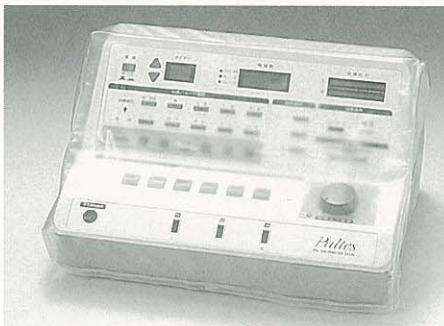
⑥ 治療終了



出力が停止しタイマー表示と周波数表示が「0」|「0000」になったら終了です。治療出力調整ツマミを「スタート」の位置に戻します。

導子をはずし、電源スイッチを「切」にします。電源コードをコンセントからはずします。

⑦ 本体と導子の保管

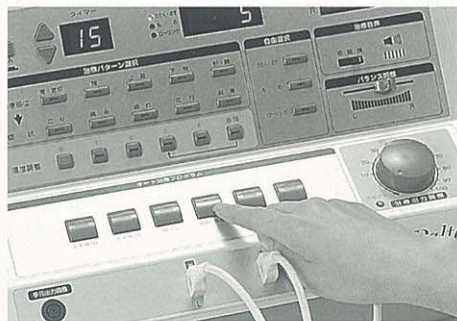


本体と導子を保管します。

治療が終了した後、導子は軽く水洗いし、スポンジの水分を充分絞り出し、風通しの良いところに保管してください。治療器本体は、ホコリを避けるため必ずビニールカバーをかけて保管してください。(31ページを参照してください。)

オート治療プログラムによる治療

1 オート治療プログラムの選択

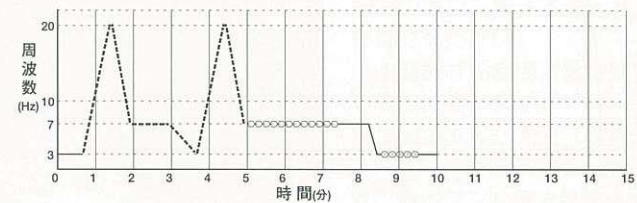


1. オート治療プログラムの設定方法
 オート治療プログラムを選択する前に、治療出力調整のつまみを「スタート」の位置にあわせてください。
 オート治療プログラムはボタン1つで目的の治療パターンを簡易に決めることができます。
 オート治療プログラムには、全部で6つの治療パターンがあります。
 電源を「入」にしますと自動的に「上半身10」のランプが点灯し、治療出力調整のつまみを回せばすぐ治療に入れます。他に「下半身10」、「腰15」、「脊髄(全身)」、「脊髄ソフト」、「脊髄ハード」があります。

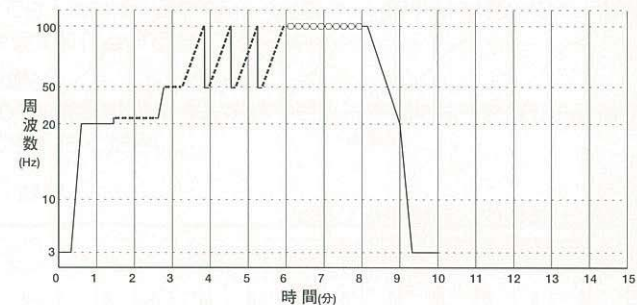
※ オート治療プログラムでは、治療中に治療パターンの変更はできません。

2. 各種オート治療プログラムの特徴と治療パターン

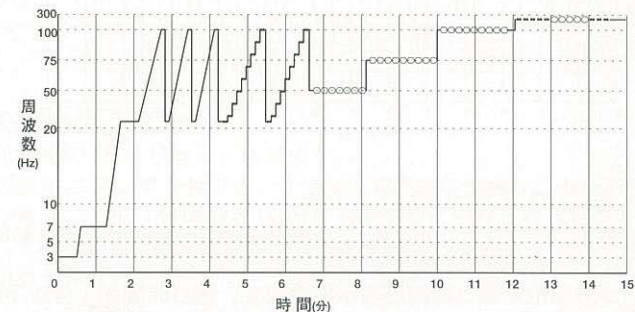
上半身10 (10分) 筋肉の硬直を防ぎ、たたきながらバランス良くもみほぐします。



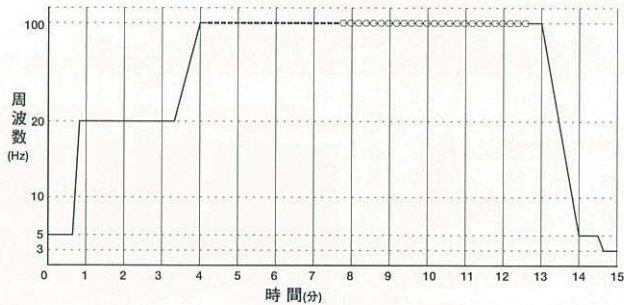
下半身10 (10分) もみほぐしと痛みを抑える作用をバランス良く発揮します。



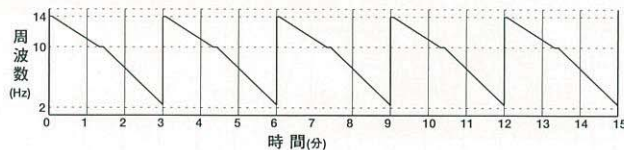
腰15 (15分) 足腰の痛みや疲労を左右のバランスを整えながら治療します。



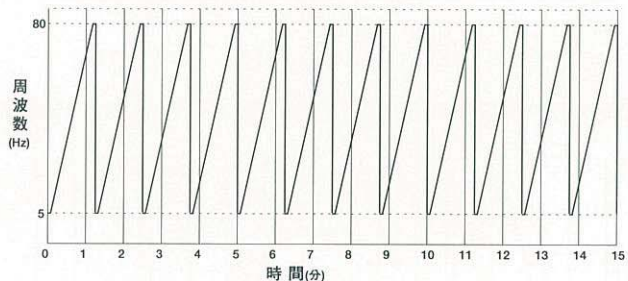
脊髄(全身) (15分)基本的な使用法で全身の血行を良くし、神経や疲労を癒します。



脊髄ソフト (15分)神経的な疲れを癒し、リラックスした状態になります。(就寝前が効果的です)



脊髄ハード (15分)神経的な活性を促します。(午前中の使用が効果的です)

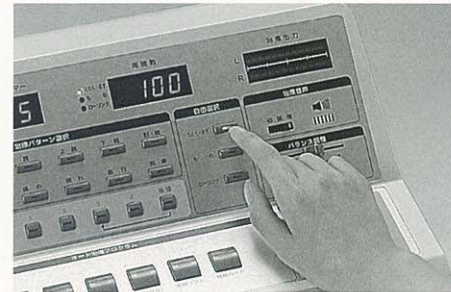


⑥ オート治療プログラムのタイマー

オート治療プログラムではどの組み合わせにもタイマーがあらかじめ決められていますので、**時間の変更はできません**。
治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が1分以下になると1秒単位で表示されます。

自由選択による治療

① 自由選択治療の選択



1.自由選択治療の設定方法

自由選択治療を選択する前に、治療出力調整のつまみを「スタート」の位置にあわせてください。

自由選択は治療周波数を固定して治療する場合に使います。

自由選択には「**たたく・おす**」、「**もむ**」、「**ローリング**」と3つの選択ボタンがあります。各ボタンは周波数が決められており、同じボタンを繰り返し押しすごとに周波数が変化します。さらに押しつづけると初期値に戻り繰り返します。

※ 自由選択では「**たたく・おす**」、「**もむ**」、「**ローリング**」のモードおよび周波数を治療中に変更することができます。

2.周波数対応表

自由選択の周波数設定はボタンを押すごとに下図のように変化しますので、治療目的に応じて選んでください。

● たたく・おす



● もむ



● ローリング



② 自由選択治療のタイマー

タイマーは最長の15分がセットされます。

タイマーの設定ボタン▼を押すと、1分単位で時間を減らすことができます。

設定ボタン▲は、逆に1分単位で15分まで増やすことができます。

治療中は、1分単位で残り時間が表示されます。残り時間が1分以下になると1秒単位で表示されます。

手元出力調整



1 手元出力調整器の使用方法

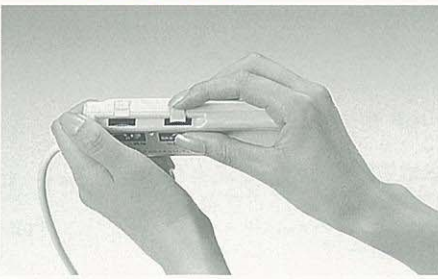
椅子に腰掛けた状態や寝た状態など導子を治療部位に装着後、機器本体の治療出力調整つまみに手が届かない時などに付属の手元出力調整器をご使用ください。手元出力調整器の基本機能は、治療出力調整とバランス調整です。



1. 機器本体との接続
 - 1) 手元出力調整器のプラグの着脱をする時は必ず機器本体の電源スイッチを「切」にしてから手元出力調整器の端子に接続します。
 - 2) 手元出力調整器の出力ダイヤルとバランス調整ダイヤルの目盛りを「0」にしてください。

手元出力調整器が接続されている時は、機器本体の治療出力調整およびバランス調整はできません。また、手元出力調整器の出力ダイヤルのつまみが「0」の位置にないと治療を開始することができません。

2 治療出力の調整



- 1) 手元出力調整器の出力ダイヤルは必ず「0」の位置からご使用ください。
- 2) 出力は機器本体の治療出力調整と同様に徐々に強くし、気持ちの良い強さにします。
- 3) 治療が終了したら、必ず手元出力調整器のダイヤルを「0」の位置に戻してください。
- 4) 左右の(-)導子の強さに違いがあるときはバランス調整ダイヤルを使用します。バランス調整ダイヤルを回し、左右の強さが同じになるように調整します。
- 5) 治療出力調整やバランス調整をした後は、ダイヤルガードをしてください。

治療例 1

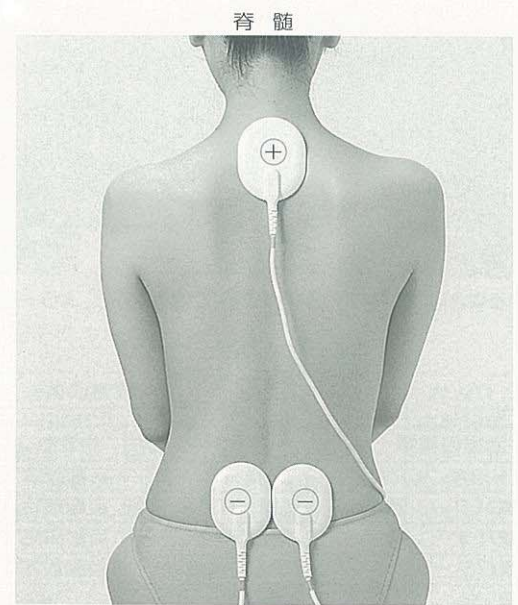
脊髄通電

治療の最も基本で、主に全身的な疲労回復、血行促進に効果があります。毎日使用することによって血行が良くなり、健康を保つ基本になります。各患部を通電する前に、脊髄通電を行うとより効果的です。

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
脊髄	オート治療プログラム	脊髄(全身)	自動設定	自動設定(15分)

導子の装着例



導子の装着図では、部位を明確にするためベルトが省略されています。実際にはベルトまたは衣服などを利用して下さい。また、写真上に記載されている極性は出力端子部分に表示されている極性表示を示しています。

上図は最も基本となる使用例です。(+)導子を上半身神経集中点、(-)導子を下半身神経集中点に装着します。オート治療プログラムの「脊髄(ソフト)」は、穏やかな周波数パターンによる心地よい刺激がリラックスを促し、疲労を回復して眠りやすくします。(就寝前の使用が効果的です)

「脊髄(ハード)」は、神経的な活性を促します。(午前中の使用が効果的です)

治療例 2

肩・首のこり

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
肩	オート治療プログラム	上半身10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	肩・首筋→こり	自動設定	自動設定(10分)
首筋	オート治療プログラム	上半身10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	肩・首筋→こり	自動設定	自動設定(10分)
背中	オート治療プログラム	腰15	自動設定	自動設定(15分)
	治療パターン選択	腰→疲れ	自動設定	自動設定(12分)

導子の装着例



※ 背中全体がこっている場合は、背中・肩・首筋の順序で治療すると、より一層効果が高まります。

治療例 3

腰の痛み

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
腰	オート治療プログラム	腰15	自動設定	自動設定(15分)
	治療パターン選択	腰→痛み	自動設定	自動設定(15分)
脚三里	治療パターン選択	下肢→血行	自動設定	自動設定(10分)
坐骨	治療パターン選択	下肢→痛み	自動設定	自動設定(15分)

導子の装着例



※ 腰だけでなく太ももの後ろが痛む場合は、腰・足底・坐骨の順序で治療すると、より一層効果が高まります。

治療例 4

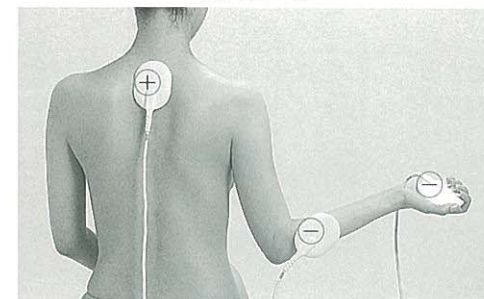
上肢の血行促進

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
腕三里・掌	オート治療プログラム	上半身10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	上肢→血行	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例

腕三里・掌



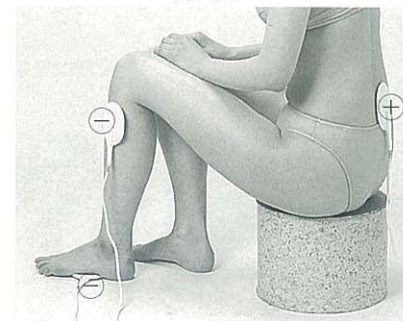
下肢の疲れ

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
脚三里	オート治療プログラム	下半身10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	下肢→疲れ	自動設定	自動設定(10分)
足底	オート治療プログラム	下半身10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	下肢→疲れ	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例

脚三里



足底



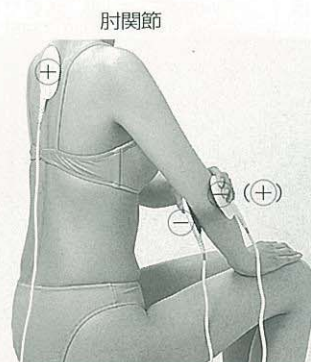
治療例 5

肘の痛み

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
肘	オート治療プログラム	上半身 10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	肘・膝 → 痛み	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例



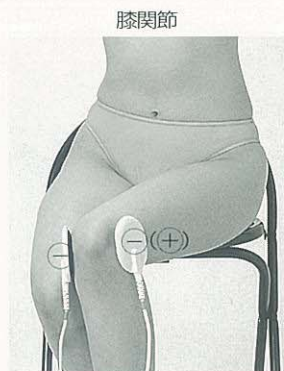
※疼痛部を(+)導子と(-)導子(片方のみ使用)ではさんで使用してもよい。

膝の痛み

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
膝	オート治療プログラム	下半身 10	自動設定	自動設定(10分)
	治療パターン選択	肘・膝 → 痛み	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例



※疼痛部を(+)導子と(-)導子(片方のみ使用)ではさんで使用してもよい。



治療例 6

【麻痺の治療について】

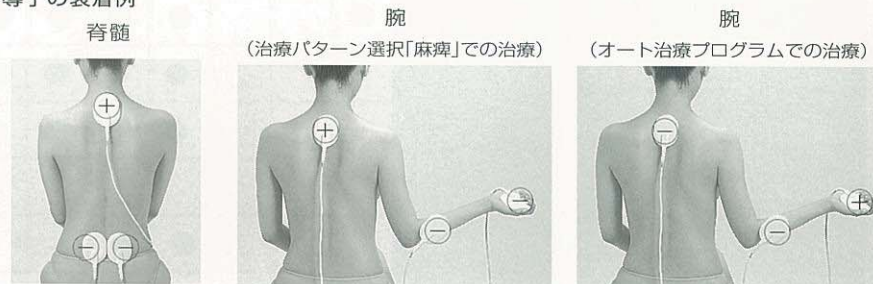
⊕の極性は刺激興奮作用、⊖の極性は鎮痛・鎮静作用があります。他の治療とは異なり麻痺の治療は、患部である末梢に⊕の極性、脊髄上に⊖の極性を装着し、末梢から脊髄を刺激します。オート治療プログラムや自由選択での麻痺の治療は⊕の極性を患部に、⊖の極性を脊髄上に装着しますが、治療パターン選択の「麻痺」を選択した時は自動的に⊕と⊖の極性が切り替わりますので、本体出力端子部分に表示されている極性の⊖端子に接続した導子を患部に、⊕端子に接続した導子を脊髄上に装着してください。

上肢の麻痺

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
脊髄	オート治療プログラム	脊髄 (全身)	自動設定	自動設定(15分)
	治療パターン選択	上肢 → 麻痺	自動設定	自動設定(15分)
腕	オート治療プログラム	上半身 10	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例



写真上に記載されている極性は本体出力端子部分に表示されている極性表示を示しています。

下肢の麻痺

治療方法

治療部位	治療の種類	選択ボタン	周波数	治療時間
脊髄	オート治療プログラム	脊髄 (全身)	自動設定	自動設定(15分)
	治療パターン選択	下肢 → 麻痺	自動設定	自動設定(15分)
脚	オート治療プログラム	下半身 10	自動設定	自動設定(10分)

導子の装着例



写真上に記載されている極性は本体出力端子部分に表示されている極性表示を示しています。

故障かな？と思ったら

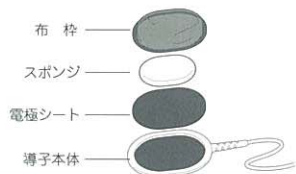
状態	原因						
	電源コードをコンセントに差し込んでいない	電源スイッチを入れていない	入力ヒューズの断線	導子の水不足	導子コードの断線	導子の不良・劣化	導子と本体との接続が不完全である
電源が入らない	●	●	●				
治療出力が出ない				●	●	●	●
治療出力が出たり、出なかつたりする				●	●	●	●
治療出力のバランスがとれない				●		●	●
治療出力の調整ができない(本体)							
タイマーボタンを押しても時間設定ができない							
手元出力調整で操作できない							
治療パターン選択の症状ボタンが点滅している							
導子が暖かにならない				●	●	●	●
治療音声が鳴らない							
処理の方法	確認をする	使用方法の項参照	電源コードを抜いてから予備を交換する	使用方法の項参照	他の二つの導子などにより確認する	他の二つの導子などにより確認する	正しく接続する

状態	原因											
	導子コードが切れかかっている	導子と皮膚が密着していない	オート治療プログラムのスイッチが押されている	治療パターン選択の治療部位スイッチが押されている	治療パターン選択の症状スイッチが押されていない	温度調整スイッチが「切」になっている	タイマーが終了している	治療音声スイッチが「切」になっている	バランス調整ツマミの操作が悪い	治療出力調整ツマミがスタートの位置から開始していない	手元出力調整器の出力ダイヤルが「0」から開始していない	手元出力調整器が本体に接続されていない
電源が入らない												
治療出力が出ない	●	●					●			●		
治療出力が出たり、出なかつたりする	●	●										
治療出力のバランスがとれない		●						●				
治療出力の調整ができない(本体)									●		●	
タイマーボタンを押しても時間設定ができない			●	●								
手元出力調整で操作できない										●		●
治療パターン選択の症状ボタンが点滅している					●							
導子が暖かにならない	●					●						
治療音声が鳴らない							●					
処理の方法	導子コードを軽くねじってみる	ベルト等で導子を皮膚に密着させる	使用方法の項参照	使用方法の項参照	治療パターン選択の症状スイッチを押す	温度調整ボタンを押す	確認をする	治療音声スイッチを「弱」または「強」にする	中央付近にセットし、もう一度確認作業する	治療出力調整ツマミをスタートの位置から開始する	電源を切り、手元出力調整器を本体からはずす	電源を切り、手元出力調整器を本体に接続する

ご使用後のお手入れと保管要領

① 使用後のお手入れ方法

導子部品の名称



使用後の導子は、風通しの良い場所に保管してください。布枠とスポンジ（電極シートは除く）は導子から取り外し、時々水洗いしてください。（洗剤不可）



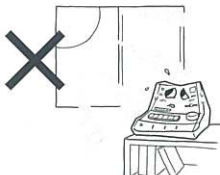
② 保管要領

本機器は精密な電子部品によって組み立てられています。湿気を嫌いますので保管場所にはご注意ください。特に使用後の、導子の保管にはご注意ください。

使用後の保管についてお願い



使用後は、機器本体の電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてください。



機器本体は直射日光を避けて、保管してください。



使用後の導子は、風通しの良い場所に保管してください。布枠とスポンジは導子から取り外し、時々水洗いしてください。（洗剤不可）

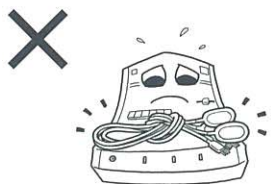
⚠ 注意



・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



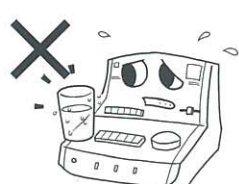
・電源プラグを引き抜く時は、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



使用後の導子を機器本体に置かないでください。



湿気の多い浴室などでの保管は絶対に避けてください。



機器本体にグラス等を置かないでください。

⚠ 警告



・機器本体は、水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電の恐れがあります。
・機器本体を浴室など湿気の多い場所で使わないでください。感電および故障の原因になります。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

- ① 本機器は、工場において厳格なテストを行っていますが、万一故障と思われるときは、12ページの「準備編」および、29ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度ご確認ください。
- ② 故障またはご不明と思われる場合は、自分で修理されずに販売店またはもよりの営業所へ申しつけてください。
- ③ 修理を依頼される時は、次のことにご注意ください。
 - a) 故障箇所と故障内容を明記してください。
 - b) 修理点検後の製品送付先（住所、氏名、電話番号）を明記してください。
 - c) 保証書を必ず添付してください。

修理お問い合わせ先：株式会社ホーマーイオン研究所 お客様相談室

電話 ☎ 0120-084239

修理品送付先：株式会社ホーマーイオン研究所 西東京工場

住所/東京都日野市万願寺12 電話/042-584-5132

⚠ 警告



・医療用具製造元以外の方は、分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

2. 付属品

付属品は、状況に応じて交換が必要です。購入先（保証書に明記された販売会社）または製造元にご注文ください。送料は実費をご負担ください。ご注文の際は、使用されている機器の型名（バルテス）とお知らせください。

付属品価格

部品名	数量	価格	
		大	小
温熱導子	1個	9,000円	9,000円
導子用消耗品セット	1セット	2,500円 (セット内容：布枠・スポンジ・電極シート/各、大1個 小2個)	
ベルト	1本	2,000円	900円

温熱導子構成部品交換時期の目安

1. 導子用消耗品セット
(布枠・スポンジ・電極シート)
[年1回交換(消耗品)]
2. 導子本体
[約500時間(消耗品)]

※上記の期間は目安です。使用状況によって耐用期間は異なりますので、汚れ、摩耗など部品の状態を含め、導子本体は治療に必要な出力を得れなくなった時点で交換をお勧めします。

ご使用上の注意

1. 本器を使用する際は、次のことに注意してください。
次のような場合は、医師の指導を受けてください。
 - ① 急性疼痛性疾患の人
 - ② 適用部位の皮膚に異常のある人
 - ③ 悪性腫瘍のある人
 - ④ 熱の高い人
 - ⑤ 心臓に障害のある人（特にペースメーカーの使用者）
 - ⑥ 妊娠している人
 - ⑦ 温度知覚に障害のある人
 - ⑧ てんかん
2. 使用する環境および条件については、次のことに注意してください。
 - (1) 使用環境：浴室等の湿度の高いところでは使用しないでください。
 - (2) 使用条件：定格電圧(AC100V、50/60Hz)、定格時間(15分)、消費電力(23W)
3. 本器を使用する前には、次のことに注意してください。
 - (1) 全てのコードは、離脱しないように正しく確実に接続してください。
 - (2) 操作ツマミ、スイッチ等が正常に作動するか確認してください。
 - (3) 導子を正しく装着してください。
 - (4) しばらく使用しなかった時は、上記に準ずるほか、正常にかつ安全に作動することを確認してください。
 - (5) 発汗しているときは治療部位をよく拭いてください。
 - (6) 他の治療器との同時併用は避けてください。
 - (7) 指定された導子以外は絶対に使用しないでください。
4. 本器を使用中は、次のことに注意してください。
 - (1) 定められた治療時間をこえないでください。
 - (2) 本機器に故障が発見された場合、直ちに使用を中止してください。
 - (3) 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止してください。
 - (4) 初めて使用する人、特に幼児、老人、虚弱体質の人が使用する場合は、治療時間を短く、かつ治療出力を弱くし、体調に合わせて使用してください。
 - (5) 停電やコードがコンセントから外れたときは電源を切り、操作ボタン等を全て元の位置に戻してください。
 - (6) 導子には金属（ネックレス等）を近づけないでください。

保証と愛用者カード

- ① 保証規定
 1. 機器本体の保証期間は、「お買い上げ後2年間」で付属品を除きます。
ご使用中万一故障が発生した場合は、お買い上げ店または製造元へ保証書を添えて修理をご依頼ください。
 2. 下記の場合は、保証期間中でも有償になりますのでご注意ください。
 - イ) 取り扱いの過誤により発生した故障。
 - ロ) 製品を改造したり、不当な修理により発生した故障。
 - ハ) 火災・地震・水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - 二) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - ホ) 保証書のご提示がない場合。
 3. 本規定によりお客様の権利を拘束するものではありません。
 4. 修理などで生じた送料などの諸経費は、お客様のご負担となります。
 5. 本規定は日本国内でのご使用に対して規定するものです。
- ② この製品には、保証書および愛用者登録カードを別途添付しています。
保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- ③ 愛用者登録カードは、お買いあげ製品の原簿となりますので、各項目にご記入のうえご投函ください。

株式会社 ホーマーイオン研究所